

日本臨床化学会関東支部のホームページによろこそ。日頃から日本臨床化学会関東支部の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。2021年6月12日に開催されました日本臨床化学会関東支部幹事会と総会（オンライン web 開催）におきまして翌6月13日から吉田 博前支部長の後任として日本臨床化学会関東支部の支部長を仰せつかることになりましたので、ここにご挨拶申し上げます。

日本臨床化学会には日本全国を9つに区分した支部があり、関東支部では正会員、名誉会員、有功会員、学生会員、企業会員の方々約700名の会員の方が所属されています。これは一般的な学会に匹敵する人数であり、その支部長の任に就き身が引き締まる思いです。

私自身は内科、分子生物学、臨床遺伝学に携わったことで遺伝子関連検査から臨床検査医学の領域に踏み込みました。自分の進路が変わるたびに「どうして基礎医学に進んだの」、「どうして臨床検査医学に行ったの」というような驚きの言葉を受けました。しかしこの経験によって視野が広がり、様々な職種の方々の協力によって組織や社会が成り立っていることを改めて感じました。患者さんのために尽力する、学問の発展のために努力する、新しい技術を開発するなどの目的のためには職種や所属などの区別を意識するよりも連携・協力し合って、努力していくことが重要であると思います。病院の臨床検査部で臨床検査医学に関わることで、臨床化学の重要性に気付かされ、日本臨床化学会認定臨床化学者を取得しました。また第25回日本臨床化学会関東支部総会総会長（2017年6月10日）を務めました。

現在新型コロナウイルス感染症の流行によって2020年度からの年次学術集会と支部会総会はweb開催が続いています。直接対面できないことからコミュニケーションが不足するのではないかなど懸念はありましたが、移動や場所にとらわれないために会議や活動をより深く推進できる機会になりえます。関係者の知恵を集めて乗り切ることができたらと考えます。

一般社団法人日本臨床化学会 三井田 孝代表理事の目指しておられる人材育成と産学連携に取り組み、関東支部と学会を発展させるよう努力してまいります。皆様のご指導とご支援を今後とも宜しくお願い致します。

2021年7月27日

一般社団法人日本臨床化学会関東支部
支部長 中山智祥
(日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野)